

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

第2回グリーンインフラ大賞の募集  
グリーンインフラに関する技術・資金調達手法の募集  
募集要領

(応募受付期間)

2021年8月12日(木)～9月30日(木)

(応募申請先)

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局まで送信ください。

MAIL: green-infra@soken.co.jp

(問合せ先)

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局

(運営委託会社) 株式会社創建 所、柳澤

MAIL: green-infra@soken.co.jp

TEL: 03-6809-1781

国土交通省総合政策局環境政策課 和田、末原(すえはら)、大上(おおうえ)

TEL: 03-5253-8111 (内線 24-332、24-334、24-423)

FAX: 03-5253-1550

2021年8月

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

## 1. グリーンインフラに関する事例等の募集の目的

グリーンインフラを推進するためには、国、地方公共団体、民間企業、大学、研究機関等、多様な主体が幅広く参画し、各自の知見、ノウハウや技術を持ち寄り共有することで、グリーンインフラを広げていくことが必要不可欠です。これに先立ち、「グリーンインフラ推進戦略」が令和元年7月に国土交通省から公表されました。

「グリーンインフラ推進戦略」では、グリーンインフラ主流化のため、グリーンインフラに関する様々な取組事例、その取組事例に適用した様々な技術や手法を収集し、グリーンインフラの特徴を踏まえた技術指針の策定に向けた検討を進めるとともに、収集した事例等を広く情報発信することをグリーンインフラ推進方策の一つとして位置づけています。

このため、グリーンインフラ官民連携プラットフォームでは、2020年度に引き続き会員の皆さまからグリーンインフラに関連する取組事例や技術・手法を幅広く募集し、収集した事例等について、優れた取組事例を「グリーンインフラ大賞」として選定し、国土交通省において広く情報発信いたします。また、取組に活用された技術・手法は、グリーンインフラの技術等の研究に活用するほか、資料集としてとりまとめることで、地方公共団体をはじめとするグリーンインフラに積極的に取り組む多様な主体の参考にして頂くよう活用します。

## 2. 応募事例等の取扱い

<予定している取組>

<b>グリーンインフラ大賞 (グリーンインフラに関する取組事例)</b>	・グリーンインフラ大賞としての表彰 (国土交通省・グリーンインフラ官民連携プラットフォームWEBサイトへ掲載。大賞受賞事例は、グリーンインフラツアー(来年度実施予定)の会場候補地として選定予定) ・グリーンインフラ事例集への掲載 (グリーンインフラ官民連携プラットフォームWEBサイトに掲載)
<b>グリーンインフラに関する技術・資金調達手法</b>	・グリーンインフラの特性を踏まえた技術等の研究 (技術部会、金融部会での検討資料として活用) ・グリーンインフラ技術集、金融部会資料集への掲載 (グリーンインフラ官民連携プラットフォームWEBサイト掲載)

※グリーンインフラ大賞(グリーンインフラに関する取組事例)及び、技術・資金調達手法の事例は、いずれも応募者企業・団体名等の公表を予定しています。

### 3. 募集対象

募集するグリーンインフラ大賞（取組事例）及び、技術・資金調達手法は、グリーンインフラに関するものを対象とします。

どちらも応募数に制限はありません。複数応募が可能です。

また、第1回グリーンインフラ大賞に応募いただいた事例についても再応募が可能です。

ただし、既に国土交通大臣賞・優秀賞を受賞した事例は、審査から除外されます。

※詳細は、4頁以降を参照ください。

グリーンインフラ大賞（グリーンインフラに関する取組事例）	
部門Ⅰ	<b>防災・減災部門</b> 雨水貯留・浸透等による気候変動対策、防災・減災に関する取組
部門Ⅱ	<b>生活空間部門</b> 戦略的な緑・水の活用による豊かな生活空間の形成に関する取組
部門Ⅲ	<b>都市空間部門</b> 官民連携等による投資や人材を呼び込む都市空間の形成に関する取組
部門Ⅳ	<b>生態系保全部門</b> 豊かな自然環境、生態系の保全・創出による地域振興、地域環境の形成に関する取組

グリーンインフラに関する技術・資金調達手法	
技術・手法の区分	内容
推進・計画設計技術※ （広報・啓発）	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンインフラを推進するにあたり、政策・施策立案の技術、効果を高めるための技術を組合せた技術、グリーンインフラ導入後の維持管理の段階で活用可能な技術等</li> <li>グリーンインフラを推進するための体制づくり（組織間で連携した体制づくり、庁内で連携した体制づくり等）に関する工夫点や事例、及びグリーンインフラに関する取組をマネジメントした事例</li> <li>グリーンインフラに関する取組を促進するため、取組に対する合意形成や参画促進を図るために実施した住民等への啓発手法及び取組を周知するために実施した広報手法等</li> </ul>
要素技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然が持つ多様な機能を活用している技術、もしくは自然が持つ機能を活用することでインフラが本来有する機能の向上を促す技術等</li> </ul>
評価手法※	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンインフラの導入効果を計測、もしくは推定するための評価技術等</li> <li>グリーンインフラの導入効果の評価項目として、個々の評価項目（防災・減災、自然環境、健康、経済、コミュニティ等）を用いた総合的な評価技術</li> </ul>
資金調達手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンインフラの取組にあたり、事業費や維持管理のために創設・実施及び活用した資金調達手法</li> </ul>

※推進・計画設計技術、評価手法については、IT・IoT技術、ビッグデータを活用した技術についても募集します。

<事例、技術・手法の収集に関して>

- ◆ グリーンインフラの普及、取組を推進する上で、幅広い事例及び技術・手法を収集し、会員の皆様に展開していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。
- ◆ 事例集を作成する上で、今後の取組の参考となる資料も収集します。様式に関わらずこれまでとりまとめた報告書等の資料も送付してください。
- ◆ 応募いただいた取組事例は企画・広報部会等からのコメントをお伝えいたします。
- ◆ 優れた取組事例については、グリーンインフラ官民連携プラットフォームの支援のもと、グリーンインフラツアー（来年度予定）の実施や、グリーンインフラの効果を見える化するための簡易的なロジックモデル等の作成をお願いする場合がございます。
- ◆ 来年度以降も新たな取組や工夫をしていただくことで再応募していただけます。
- ◆ グリーンインフラは分野横断で取り組む場合もあります。関連する部局への周知・協力を依頼していただくと幸いです。
- ◆ 疑問点等がありましたら、応募支援体制を整えていますので、事務局までご連絡ください。

## 4. 応募の区分の詳細

### (1) 第2回グリーンインフラ大賞（グリーンインフラに関する取組事例）

応募区分は、以下に示す4部門を対象とします。実施済み（計画・施工中の事業は除く）のプロジェクトが対象です。（実証・実験施設等も対象となります。）

また、第1回グリーンインフラ大賞に応募いただいた事例についても再応募が可能です。  
ただし、既に国土交通大臣賞・優秀賞を受賞した事例は、審査から除外されます。

複数の部門にまたがる取組については、「最も関係性が高いと考えられる部門」、「その他関連する部門」を選択してご応募下さい。その際、取組の内容や効果等については、「その他関連する部門」に関する事項も含めて記載下さい。

各部門において想定される「主な実施場所」、「主な事業種別」は下表に整理しています。応募の際の参考としてください。

[募集区分]

部門	主に関わる主体	主な実施場所	主な事業種別
部門Ⅰ	公共団体 等	都市部の公共空間（道路、公園、校庭の庭）等	整備事業（維持・管理含む）
部門Ⅱ	地域住民 NPO 等	都市部の公園、空地、河川等	維持・管理事業（整備含む）
部門Ⅲ	民間都市開発事業者 等	都市部	整備事業（維持・管理含む）
部門Ⅳ	地域住民 NPO 等	地方部、郊外	維持・管理事業（整備含む）

## (2) グリーンインフラに関する技術・資金調達手法

募集する技術・手法は、以下に示す4区分を対象とします。

これまでに活用した技術・手法に加えて、活用が可能と考えられる技術・手法についても応募の対象とします。

自然環境が有する多様な機能を活用するグリーンインフラの取組において、当初想定していなかった成果でなくても、多面的に機能・効果を発揮した技術や手法についても対象とします。

なお、昨年度技術集に掲載された技術・手法の更新も可能です。更新を希望される場合は、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局までご連絡ください。

### [募集する技術・手法]

グリーンインフラ技術・手法の区分	内容
推進・計画設計技術 (広報・啓発手法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラを推進するにあたり、政策・施策立案の技術、効果を高めるための要素技術を組合せた技術、グリーンインフラ導入後の維持管理の段階で活用可能な技術等について応募ください。</li> <li>・グリーンインフラを推進するための体制づくり（組織間が連携した体制づくり、庁内で連携した体制づくり等）に関する工夫点や事例について応募ください。</li> <li>・グリーンインフラに関する取組をマネジメントした事例も対象とします。</li> <li>・グリーンインフラに関する取組を促進するため、取組に対する合意形成や参画促進を図るために実施した住民等への啓発手法及び取組を周知するために実施した広報手法等について応募ください。</li> </ul>
要素技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が持つ多様な機能を活用している技術、もしくは自然が持つ機能を活用することでインフラが本来有する機能の向上を促す技術等を応募ください。</li> <li>・応募技術は、応募者が所有する技術に限りません。但し、他者の技術を応募する際には、特許の有無、特許所有者と応募者との関係を明示してください。</li> </ul>
評価技術・手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラの導入効果を計測、もしくは推定するための評価技術等について応募ください。</li> <li>・グリーンインフラの導入効果の評価項目として、防災・減災、自然環境、健康、経済、コミュニティを基礎区分としていますが、個々の評価項目を用いた総合的な評価技術についても募集します。</li> <li>・評価を行った事例も対象とします。</li> </ul>
資金調達手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラの取組を行うために、事業費や維持管理のために創設・実施及び活用した資金調達手法について応募ください。（クラウドファンディングの創設、グリーンボンドの発行など）</li> <li>・また、地方公共団体等において、分野横断で予算を確保するなど、工夫した事例等も対象とします。</li> </ul>

## 5. 応募資格

応募者は、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員であることとします。

(ア) (イ) による応募も可能です。

※ (ア) (イ) による応募の場合、必ず 9 月 30 日までにグリーンインフラ官民連携プラットフォームHPより会員登録を行ってください。連名で応募する団体、個人も対象です。

(ア) 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員との連名による応募  
(イ) 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員の推薦による応募

### 会員申込はこちらから

⇒グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

WEBサイト

<https://gi-platform.com/>



## 6. 応募支援体制

グリーンインフラ大賞（グリーンインフラに関する取組事例）、グリーンインフラに関する技術・資金調達手法の募集にあたっては、応募区分の相談、記載方法に関する相談などの支援を行います。

メールに、相談者、相談者の連絡先（e-mail、TEL）、相談内容を記入いただき、下記にご連絡ください。

相談内容に対する返信は、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局（事務局運営業務受託会社（株）創建、もしくは国土交通省環境政策課）より、原則メールにて実施いたしますが、内容によってはお電話にて回答させていただく場合もあります。

[宛先] グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局【事務局運営業務受託会社】  
株式会社創建 東京本社内、グリーンインフラ取組事例等応募係  
担当：所、柳澤  
事務局メールアドレス：[green-infra@soken.co.jp](mailto:green-infra@soken.co.jp)

## 7. 応募方法

所定の応募様式に必要事項を記入し、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局へメール、もしくは郵送にてご提出ください。

下記の提出資料の内、応募様式1，応募様式2については、各様式をデータのままご提出ください。補足説明資料については、PDF、または紙での提出が可能です。

**※大容量ファイル転送サービスを利用される場合は、事前に事務局までご連絡ください。**

応募種別により、提出いただく様式や、記載項目、提出資料が異なります。下記の提出資料をご参照ください。

[提出期限] 2021年9月30日(木) 17時 必着

[提出資料]

応募種別	応募に際し提出いただくもの	提出形式
第2回グリーンインフラ大賞 (グリーンインフラに関する取組事例)	・応募様式1(共通) ※必須 ・応募様式2 ※必須	データ ・応募様式1 ワード形式 ・応募様式2 パワーポイント形式
	・補足説明資料(論文・パンフレット等) ※任意	データ、紙の いずれも可
グリーンインフラに関する技術・資金調達手法	・応募様式1(共通) ※必須 ・応募様式3-1(推進・計画設計技術) ※必須 ・応募様式3-2(要素技術) ※必須 ・応募様式3-3(評価技術・手法) ※必須 ・応募様式3-4(資金調達手法) ※必須	データ ・応募様式1 ワード形式 ・応募様式3-1~4 パワーポイント形式
	・補足説明資料(論文・パンフレット等) ※任意	データ、紙の いずれも可

※グリーンインフラ大賞(グリーンインフラに関する取組事例)については、締め切り後の提出書類の差し替えは原則としてお受けいたしません。

[提出先]

【メールの場合】 事務局メールアドレス：[green-infra@soken.co.jp](mailto:green-infra@soken.co.jp)

※10MBまで、受信可能です。10MBを超える場合は、大容量ファイル転送サービスをご利用下さい。

【郵送の場合】

※応募様式1～3については、CD-Rに格納して提出してください。補足説明資料は、CD-Rに格納、もしくは書類等のいずれの方法で提出して頂いても構いません。

宛先：株式会社創建 東京本社内、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局

住所：〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目3番8号 苔香園ビル3階

電話：03-6809-1781

## 8. グリーンインフラに関する取組事例の表彰（第2回グリーンインフラ大賞）

### （1）表彰区分

応募区分に示すⅠ～Ⅳの部門、それぞれ最も優れた取組を「グリーンインフラ大賞」として選定します。また、部門ごとに数事例を「優秀賞」として選定する予定です。

### （2）審査のポイント

審査に関しては、特に以下の視点で評価します。

- (1) 地域の複合的な課題を解決するものか
- (2) 関係者（官民、組織内、地域）と連携した取組であるか
- (3) 自然が有する多様な機能を活用し、多面的な効果を発揮しているか
- (4) 効果を発揮させるための工夫（コミュニティの形成、人材育成、維持管理等）がみられるか
- (5) 面的な広がりのある取組であるか
- (6) 上記を実施するために、計画を策定する上で工夫がなされているか

※複数の部門にまたがる取組については、「最も関係性が高いと考えられる部門」に関する内容だけでなく、「その他関連する部門」に関する内容も記載してください。上記の審査のポイントより、地域の複合的な課題を解決する取組や多面的な効果を発揮している取組は高く評価されます。

### （3）審査方法

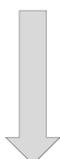
審査方法は、以下の通りです。

#### 〔1次審査（10～11月予定）〕 書類審査



※グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画・広報部会の部会長・部会幹事等による審査（ポスター資料等による書類審査）を予定

#### 〔2次審査（11～12月予定）〕 ポスターセッション



※1次審査を通過した事例について、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム専用サイトにてポスター掲示を行い、会員の投票等による審査を予定  
※部門別の受賞事例を選定

#### 〔最終審査（1月予定）〕 最終プレゼンテーション（動画）

※2次審査を通過した事例について、応募者によるプレゼン（動画）等を実施し、会員の投票等による最終審査を予定  
※部門別の大賞・優秀賞を選定

## 9. スケジュール

スケジュールは、以下の通りです。

### [グリーンインフラ大賞(グリーンインフラに関する取組事例)]

応募受付期間	2021年8月12日(木)～9月30日(木) 17:00 必着
↓	
一次審査	2021年10月～11月(予定)
↓	
二次審査	2021年11月～12月(予定)
↓	
最終審査	2022年1月(予定)
↓	
表彰	2022年3月(予定)

### [グリーンインフラに関する技術・資金調達手法]

技術・手法等の募集	2021年8月～9月(予定) ※10月以降も募集を継続しますが、技術集への掲載を希望する場合は年内(12月)までにご提出ください。
↓	
技術・手法等の整理	2021年10月～11月(予定)
↓	
技術集の中間とりまとめ	2021年12月(予定)
↓	
技術集・金融資料集の公表	2022年3月(予定)

※グリーンインフラ官民連携プラットフォーム WEB サイトで公表予定